



大瀬物語り

製作プロジェクト



小学校閉校を目前として 地域のあり方を考える



白鷹町大瀬地区は、最上川沿線にたたずむ集落で、過疎化と高齢化を克服し何とか明るい将来を展望したいという思いから町や関係団体の協力も得ながらプロ派遣事業に取り組んできました。

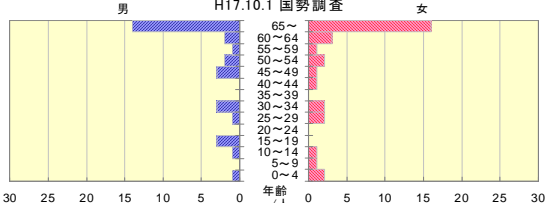
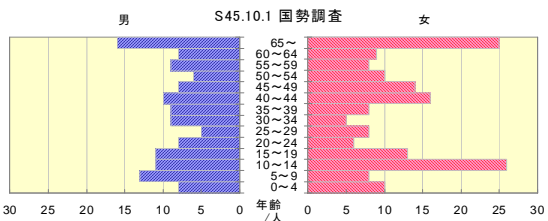
プロ派遣事業では、地域づくりプランナーがその地域に最適な地域づくり手法をアドバイスしながら関係者の合意を得

てプログラムを進めています。

大瀬地区では、地区内外の人たちが集落内を点検して「お宝マップ」を作成。それをベースに今後もここで(大瀬)?住み続けていくために何が大切かを考えた「ごらく構想図」を地域の成果として取りまとめました。いつ、だれが、という行動計画もできており、今後の大瀬の発展が楽しみです。

西川町吉川地区は、清流寒河江川の流れる中山間地域にあり、自然豊かで、月山を望む景色も素晴らしいところです。吉川地区では、少子化の進行により地区内にある川土居小学校が平成24年度に閉校することが決定されています。地区のシンボルがなくなるといことはとても悲しいことですが、これを契機として何とか地区を盛り上げようという思いで「吉

川の未来を創る会」が設立され、未来に向かって歩み始めました。単に小学校の校舎がどうなるのかを考えるだけではなく、地区住民の思い入れも考慮しながら今後4年間かけた地域づくりの「きっかけ」をつくり出します。計画づくりにとどまらず、計画途中から行動に移していくものは実践し、活動を通して活き生きとした地域づくりに取り組んでいきます。



人口分布調査

年号	出来事
1594	安土 文禄3年 「高目懸機」 ※村高月30石1斗4升 伊達政俊が仙北
1600	徳川 慶長5年 最上戦役で「大瀬口」よりハツツ沼城攻め 阿ヶ原の戦い
1670	江戸 元禄年間 「豊崎(むらかみ)」 ※村高月30石1斗4升、戸
1638	元禄年間 豊所殿の設置、大瀬、平田にも豊所設置
1693	元禄6年 西村左衛門の
1694	元禄7年 最上川舟運に
1820	文政10年 (山形県史資料) ※戸数4戸、人口186人 (男1
1870	明治初期 大瀬〜柳屋間渡舟開始

地域の歴史を振り返る年表作成



活動を振り返り、大瀬の地域づくりの次のステップへとつなげていくためのまとめの会を開催。一年前とは違う輝きのある笑顔が印象的でした。

この後実施された「うまいものフェスティバル」では、地域特有の資源や伝統料理などを再発見する良い機会となりました。

これからも、まだまだ頑張大瀬(がんばろ〜ぜ)。

“大瀬物語り”の製作 〜大瀬の活き活きを語ろう〜 ワークショップ

支援内容

- 1 集落の現地調査
- 2 調査結果の診断・解析支援
- 3 地域活性化プログラム作成支援
- 4 ワークショップ開催支援
- 5 行動計画づくりへの技術支援



地域づくりワークショップの成果「ごらく構想図」



「吉川の未来を創ろう!!」ワークショップ



明日の吉川を創る127の提案がまとまりました！ 第4回のワークショップで成果発表会を行いました (3月1日)

【今年1年の歩みを振り返って】

昨年の8月、区・公民館・婦人会・若妻会・若衆会・PTA等の参加者で構成し、活動を行ってきた「吉川の未来を創る会」。平成24年度から統合小学校がスタートするとき、地域の小学校がない中で、吉川の地域活動をどのように行っていくかを考えようとして本会は設立されました。以来、小学校統合を一つの契機にし、単に吉川の地域行事のあり方だけを考えるのではなく、将来の吉川がどのような地域になっていくべきかを5回に渡って話し合ってきました。

話し合いは「ワークショップ」という気軽に参加者全員の思いが語られる方法で行われました。あるときは紙幣に地図を見ながら、あるときは現地を訪問し、また現地で撮った写真やメモを見ながら、「吉川の宝物」や「もっと良くしたい」「やってみよう」などを話し合ってきました。参加した方からは「知っているようで知らない吉川があった」「吉川にも他地域に誇れるものがある」「新しい取り組みを是非実現させてみたい」という声があがりました。地域の良さの再確認と吉川の未来創りに対する気運が高まってきたようです。

3月1日に開催された第4回のワークショップでは、話し合いを重ねてきた結果、参加者から寄せられた、未来の吉川に対する「127の提案」がどのようなものであったか発表されました。

【第4回ワークショップの様子】

ワークショップでは参加した方がどのような提案を行ったのか、分かりやすく大きく6つ項目に分けた形まとめ、発表されました。6つの項目は次のとおりです。

- 産業を興す・収益に結びつくこと
- 歴史的なものの保存・宣伝、文化の伝承
- お祭、イベント、レクリエーション、地域活動への参加
- 建物、道路などのハード面の整備
- 美しい風景を守る、花の植栽など美化活動、ゴミをなくす
- 地図、絵はがきなどを使っての情報発信

以上の項目にキャッチフレーズをつけて発表しました。詳しい内容は次のページをご覧ください。

ワークショップのまとめを発表する地域派遣職員の高津美奈さん

よしかわ 未来づくり通信	
ワークショップから生まれた127の提案の主な内容	
【6つのキャッチフレーズ】 127の提案は大きく6つの項目に分けられます。そのキャッチフレーズは次のとおりです。	
産業を興す・収益に結びつくこと	豊かな資源を活かす
歴史的なものの保存・宣伝、文化の伝承	次世代に引き継ぐ歴史と文化
お祭、イベント、レクリエーション、地域活動への参加	みんなで参加吉川の地域づくり
建物、道路などのハード面の整備	住み良い地域にしよう
美しい風景を守る、花の植栽など美化活動、ゴミをなくす	水と緑のある美しい吉川の里
地図、絵はがきなどを使っての情報発信	自慢しようふるさと吉川

【提案は「いつ」「だれが」するのか】

127の提案は誰かに「OOしてほしい」ではなく、参加した方が「OOしたい」「OOしていきたい」との思いの結晶です。また、提案毎に「いつするのか(優先順位)」「だれがするのか(役割分担・主体)」も考えています。6つのキャッチフレーズに整理された127の提案の主な内容は下記の通り記載しましたので、ご覧ください。

1 豊かな資源を活かす 提案数34件				
小項目と提案された数()内が数	提案の主な内容	優先順位		役割分担・主体
		今すぐ	2〜3年	
今ある資源を活かす(4)	育苗ハウスを使った後の農作物を栽培する	○	○	地域・行政
月山まんま工場を活かす(4)	区の山(伐採地)をワラビ園にしたら良い	○	○	○
小学校を利用する(10)	月山まんま工場で吉川の産物を開き農産物を売る	○	○	○
山を利用する(5)	販売所に産物を切ったキノコ栽培(山の更新)	○	○	○
トラやワインとの連携(5)	小学校を飲み屋やる	○	○	○
地域産業をPRする(6)	小学校を漬物加工食品製造施設にする	○	○	○
	山の樹を伐採して薪材の取り扱いして炭焼きする	○	○	○
	環境税で刈った木を利用して地域のプレゼンツにする	○	○	○
	高どう地で作ったぶどうをトラやワインでワインにする	○	○	○
	ワイナリーでワインと地元産物の楽しめるレストラン	○	○	○
	西川川の大きな看板を立てたらよい	○	○	○
	山形97号と月山まんまの地域として全国にPRする	○	○	○